

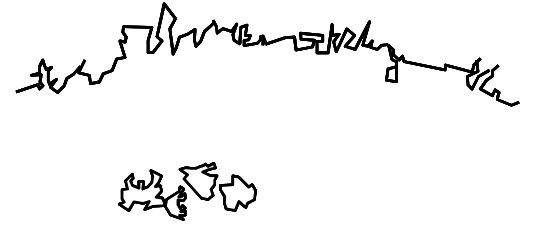
兵庫県のり漁場環境情報 (西播海域 3号)

平成28年11月9日発行
兵庫のり研究所

この海域全般に多種多様な珪藻が発生しています。これら珪藻の発生量が多い海域において窒素は2~4 $\mu\text{g at / L}$ 台でした。沖合漁場においても珪藻がやや多く見られていますが、窒素は5~6 $\mu\text{g at / L}$ と十分量で推移しています。栄養塩の低い海域においては、引き続き珪藻の発生動向が注視されます。

(栄養塩、珪藻) 地先漁場においては前回調査同様、肉眼視サイズのものから小型まで様々な珪藻が多く窒素は低い値を示した。沖合漁場では、これら珪藻のなかで比較的大型の珪藻(ディチルム・ステファノピクシス等)が増加していたが、小型珪藻は少なく窒素は5~6 $\mu\text{g at / L}$ であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.3	3.4	5.0	4.6
	リン	0.54	0.43	0.58	0.49
家島・坊勢	窒素	7.5	5.7	5.3	5.9
	リン	0.86	0.67	0.67	0.69

(10/25) (11/9)

栄養塩 (窒素) 図

平成28年11月8日調査

